

JP 63059812

1/3,AB,LS/6 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI
(c) 2009 Thomson Reuters. All rts. reserv.

0004375552

WPI ACC NO: 1988-109970/

XRAM Acc No: C1988-049616

XRPX Acc No: N1988-083417

Cutter wire of rotary type mower - is composed of polyethylene oxide coupled with aromatic gp. e.g. alkylphenol

Patent Assignee: TORAY MONOFILAMENT CO (TORE)

1 patents, 1 countries

Patent Family

Patent Number	Kind	Date	Number	Application Kind	Date	Update
JP 63059812	A	19880315	JP 1986203632	A	19860901	198816 B

Priority Applications (no., kind, date): JP 1986203632 A 19860901

Patent Details

Number	Kind	Lan	Pg	Dwg	Filing Notes
JP 63059812	A	JA	4	0	

Alerting Abstract JP A

Condensations of polyalkylene oxide and aromatic cpd. having OH gp. directly coupled with aromatic nucleus, are adhered on the surface of synthetic resin monofilament. Synthetic resin monofilament is e.g. polyamide of nylon, PET, etc. Condensn. prod. is made by reacting polyethylene oxide, which is directly coupled with aromatic group e.g. alkyl phenol.

ADVANTAGE - Cutter wire of the mower does not melt weld in cassette reel, and can be taken out from the reel. Has good durability and manoeuvrability.

Basic Derwent Week: 19 88 16

?

⑪ 公開特許公報 (A) 昭63-59812

⑫ Int. Cl.⁴
A 01 D 34/73
D 06 M 15/53

識別記号 104
府内整理番号 7628-2B
6768-4L

⑬ 公開 昭和63年(1988)3月15日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 回転式刈払機のカッター線

⑮ 特 願 昭61-203632

⑯ 出 願 昭61(1986)9月1日

⑰ 発明者 中西 重明 愛知県岡崎市昭和町字河原1番地 東レ・モノフィラメント株式会社内
 ⑱ 発明者 阿部 正志 愛知県岡崎市昭和町字河原1番地 東レ・モノフィラメント株式会社内
 ⑲ 発明者 岩瀬 孝司 愛知県岡崎市昭和町字河原1番地 東レ・モノフィラメント株式会社内
 ⑳ 出願人 東レ・モノフィラメント株式会社 愛知県岡崎市昭和町字河原1番地
 ㉑ 代理人 弁理士 畑 泰之

月 日 従業

1. 発明の名称

回転式刈払機のカッター線

2. 特許請求の範囲

合成樹脂モノフィラメントの表面に、ポリアルキレンオキシドと、芳香核に直接結合した水酸基を有する芳香族化合物との縮合物を付着せしめることを特徴とする回転式刈払機のカッター線。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、芝草や雑草を刈取る回転式刈払機の回転刃として使用する合成樹脂モノフィラメント製のカッター線に関するものである。
(従来技術)

刈払機は、一般家庭の芝草刈取用、牧場の牧草刈取用、農園やあぜ道の雑草刈取用および道路や河岸堤防の雑草刈取用などの多方面に広く利用されている。

このような刈払機としては、金属製のノコギリ

状回転刃を高速回転させて、これを芝草などに当てて刈取る型式のものが、従来からもっぱら使用されてきたが、この型式の刈払機は、その芝草刈取能力はきわめてすぐれているものの、作業中に金属製回転刃が石塊やコンクリートなどに当った場合に、刃先の一部が破損し、しかも破損した刃や石片が飛散して作業者に怪我を負わすという危険を含んでいる。また金属製回転刃を有する回転刃を用いて、石垣、飛び石および植込みなどの周辺の芝草刈取作業を行なう場合には、回転刃がこれらの障害物によって損傷を受けたり、あるいは植込み植物の根元を切断したりして、能率的な作業を行なうことが困難であった。

そこで最近では、このような問題を解消し、安全でしかも植物に傷を付けない回転刃として、合成樹脂モノフィラメント製カッター線が開発され、とくに上記したような金属製回転刃では清掃困難な場所を対象として使用されている。

すなわちこの型式の回転式刈払機は、金属やプラスチックからなる回転体に、長さ約10~20